

化学物質等安全データシート (SDS)

作成年月日 2019年3月20日

1. 化学物質等及び会社情報	製品名	ZeoBio (ゼオバイオ)
	住 所	東京都千代田区岩本町2-1-17 宮中ビル7F
	会社名	株式会社 バイオレンジャーズ
	担当部	技術営業部
	電 話	03-5833-7181
	緊急時電話番号	090-2590-9747
	F A X	03-3863-1520
	メールアドレス	info@bri.co.jp

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響 粉塵を長期間にわたり吸入すると呼吸器系、腎臓の障害を生じるおそれがある。不純物として含有する石英に発がんのおそれがある。

特有の危険有害性 特にない

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外

	有機化酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉塵・ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分 1A（石英）
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器系、腎臓）	
吸入性呼吸器有害性	分類できない	
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

注意書き：

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

乾燥した場所で水分・湿気に注意して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報	化学物質・混合物の区別	天然鉱物
	化学名	天然ゼオライト（モルデナイト系）
	別名	沸石、アルミノ珪酸塩鉱物
	化学式または構造式	$(\text{Ca}, \text{K}, \text{Na}) [\text{Al}_2\text{Si}_6\text{O}_{12}]_2 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$
	化審法公示番号	_____
	安衛法公示番号	_____
	CAS番号	1318-02-1
4. 応急処置	目に入った場合	速やかに流水で充分洗浄した後、必要に応じて医療処置を受ける。
	皮膚に付着した場合	水で洗い流す
	吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、水でうがいをする。多量の場合は医師の診断を受ける。
	誤飲した場合	多量の水又は食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。
	予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
	応急措置をする者の保護	情報なし
	医師に対する特別な注意事項	情報なし
5. 火災時の措置	消火剤	本品は不燃性であるため、周囲の火災状況に適する消火剤を使用する。
	使ってはならない消火剤	特になし
	火災時の措置に関する特有の危険有害性	情報なし
	特有の消化方法	消化発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。消火作業の際は風上から消火活動をする。
	消化を行う者の保護	防火・防災・耐熱に対応できる保護着を着用する。
6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	(1) 粉塵から身を守るために保護具を着用する。 (2) 粉塵の飛散を防ぐ。
	保護具及び緊急時措置	(1) 上記の保護具とは《8. 暴露防止及び保護措置》の保護具を指す。 (2) 緊急時措置として、このもの自体は安全性の高いものであるが、周囲に拡散しないように素早く回収を行う。
	環境に対する注意事項	回収物を排水溝や水路に流さない（作業場の外に流出させない）で回収する。
	回収	粉塵が立たないようにしながら帚や掃除機で回収し産業廃棄物として廃棄する。
	二次災害の防止策	排水溝、下水溝等への流出を防止する。

7. 取り扱い及び保管上の注意		
取り扱い	技術的対策	粉塵を立たないように作業を行うことが望ましい。もし、粉塵が立つようならば、保護具を着用して作業を行う。
	局所排気・全体換気	屋内作業場で使用する場合は粉塵が立たない様に集塵機等を取り付ける。
	注意事項	(1) 破袋防止の為、製品を投げ積みはしない。 (2) 荷崩れしないよう製品の積み重ねは丁寧に行う。 (3) 吸湿させないように地面に直置きしない。(本品をパレットの上に置く等の措置をとる。)
保管	技術的対策	(1) 紙袋やフレコン等に包装されている場合は、湿気や水漏れ厳禁の為屋内にパレット積みにて保管する。 (2) サイロ等に保管する場合は本品が濡れないように対策をとる。
	混触禁止物質	—
	保管条件	(1) 本品が雨等に濡れないように屋内に保管する。 (2) 水気がない場所や湿度が低い場所に保管する。
	容器包装材料	できるだけ透湿性のない材質
8. 暴露防止及び保護措置		
	管理濃度	作業管理環境基準 : — 日本産業衛生学会勧告値 : — ACGIH (TLV) : —
	設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置をつける。
	保護具	呼吸用の保護具 : 防塵マスク 手の保護具 : 保護手袋 眼の保護具 : ゴーグル型保護メガネ 皮膚及び身体の保護具 : 作業服、作業靴、作業帽
9. 物理的及び化学的性質		
	外観等	淡褐色
	臭気	無臭
	形状	粉末または粒状
	粒径	粒状固形物
	pH	6.0 ~ 7.5
	融点・凝固点	—
	沸点、初留点及び沸騰範囲	—
	燃焼又は爆発範囲の上限・下限	—
	蒸気圧	—
	比重(相対密度)	2.35
	溶解度	水に不溶
	n-オクタノール・水分配系数	—
	自然発火温度	—
	分解温度	—
	揮発性	—
	引火性	—

10. 安定性及び反応性	化学的安定性	データなし	
	反応性	弗化水素酸及び強アルカリ溶液と反応する。	
	危険有害反応可能性	なし	
	避けるべき条件	なし	
	混触危険物質	なし	
	危険有害な分解生成物	なし	
11. 有害情報	急性毒性	データなし	
	皮膚腐食性・刺激性	データなし	
	眼に対する重篤な損傷刺激性	データなし	
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし	
	生殖細胞変異原性	データなし	
	発がん性	データなし	
	生殖毒性	データなし	
	特定標的臓器・全身毒性		
		単回暴露 データなし	
		反復暴露 データなし	
吸引性呼吸器有害性	データなし		
12. 環境影響情報	生態毒性	データなし	
	残留性・分解性	データなし	
	生態蓄積性	データなし	
	土壤中の移動性	データなし	
	オゾン層への有害性	データなし	
13. 廃棄上の注意	残余廃棄物	本品を産業廃棄物とし、許可を得た廃棄物処理業者に委託契約して処理する。	
	汚染容器及び包装	紙袋やラップ等は、残余廃棄物と同様に処理する。	
14. 輸送上の注意	国際規約	国連番号	該当なし
		品名	該当なし
		国連分類	該当なし
		海洋汚染物質	該当なし
	国内規約	陸上輸送	法規に該当しない
		海上輸送	法規に該当しない
		航空輸送	法規に該当しない
		輸送の特定の安全対策及び条件	取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
15. 適用法令	地力増進法	ゼオライトは法定土壌改良資材として指定されています。	
	PRTR法	該当しない	
	毒物及び劇物取締法	該当しない	
	労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物	
		法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 政令番号 第312号 法第22条、粉じん障害防止規則別表第1	

16. その他

この情報は、新しい知見及び試験等により改正される事が有ります。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえお取扱い願います。全ての製品には、未知の有害性が有り得る為、取扱いには、細心の注意が必要です。ご使用各位の責任に於いて、安全な使用条件を設定下さる様お願い致します。